



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス
コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 渡邊 一治

TEL 03-5292-8000

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	86,360	18.1	12,583	47.9	12,930	43.7	7,324	28.5
27年3月期第2四半期	73,130	18.6	8,507	81.9	8,997	58.7	5,702	118.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,888百万円 (△7.2%) 27年3月期第2四半期 7,423百万円 (78.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	60.06	59.94
27年3月期第2四半期	49.47	49.39

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	212,552	159,896	74.8	1,304.05		
27年3月期	211,938	155,314	72.9	1,267.24		

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 159,050百万円 27年3月期 154,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00 ～35.00	30.00 ～45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000 ～220,000	19.1 ～31.0	17,000 ～25,000	3.5 ～52.2	17,000 ～25,000	0.1 ～47.2	11,000 ～18,000	11.9 ～83.1	90.21 ～147.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	122,278,896 株	27年3月期	122,232,896 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	312,218 株	27年3月期	309,664 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	121,948,885 株	27年3月期2Q	115,271,882 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は平成27年11月6日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライセンス・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は86,360百万円(前年同期比18.1%増)、営業利益は12,583百万円(前年同期比47.9%増)、経常利益は12,930百万円(前年同期比43.7%増)となりました。

なお、関係会社株式評価損1,130百万円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,324百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第2四半期連結累計期間は、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」やスマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストモンスターズスーパーライト」、「スクールガールストライカーズ」、「ファイナルファンタジーレコードキーパー」、「乖離性ミリオンアーサー」などが引き続き好調に推移したことに加え、「メビウスファイナルファンタジー」が好調なスタートを切りました。

また、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」及び「ドラゴンクエストX」の追加ディスクの販売、運営が好調に推移しました。

家庭用ゲーム機向けタイトルにおいては、前年同期と比較して過去に発売したタイトルのリピーター販売が減少しました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は60,177百万円(前年同期比37.5%増)となり、営業利益は12,917百万円(前年同期比62.9%増)となりました。

○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、アミューズメント機器の販売が低調であったため、売上高は減少しましたが、効率的な店舗運営に努め、業績は堅調に推移しております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は19,005百万円(前年同期比10.8%減)となり、営業利益は2,179百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

○出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、前年同期と比較してコミックスの売上が減少しました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,999百万円(前年同期比19.6%減)となり、営業利益は1,059百万円(前年同期比40.8%減)となりました。

○ライセンス・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、「ファイナルファンタジーXIV」の追加ディスクの販売に伴い、自社コンテンツのキャラクターグッズの販売が増加した他、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は2,578百万円(前年同期比32.9%増)となり、営業利益は886百万円(前年同期比45.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は172,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,323百万円増加しました。これは主にコンテンツ制作勘定が11,775百万円増加したこと、現金及び預金が6,780百万円及び受取手形及び売掛金が4,291百万円減少したことによるものであります。固定資産は40,413百万円となり、前連結会計年度末に比べ709百万円減少しました。

この結果、総資産は、212,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ614百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は45,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,034百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金1,523百万円、返品調整引当金965百万円及び流動負債その他が1,826百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加しました。

この結果、負債合計は、52,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,967百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は159,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,581百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益7,324百万円、剰余金の配当2,438百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.8%（前連結会計年度末は72.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・上位集中が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等の所謂スマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化に対応したコンテンツ開発と収益機会の多様化を図ることによって、強固な収益基盤を確立する取り組みを進めております。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,631	96,850
受取手形及び売掛金	20,973	16,681
商品及び製品	1,881	2,114
仕掛品	4	441
原材料及び貯蔵品	314	305
コンテンツ制作勘定	35,113	46,888
その他	9,019	8,961
貸倒引当金	△122	△105
流動資産合計	170,815	172,139
固定資産		
有形固定資産	13,620	13,571
無形固定資産	10,192	9,738
投資その他の資産	17,309	17,102
固定資産合計	41,122	40,413
資産合計	211,938	212,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,820	10,296
短期借入金	7,122	7,268
未払法人税等	3,974	4,171
賞与引当金	1,696	1,687
返品調整引当金	4,865	3,900
店舗閉鎖損失引当金	379	328
資産除去債務	9	7
その他	20,062	18,236
流動負債合計	49,931	45,896
固定負債		
役員退職慰労引当金	151	156
店舗閉鎖損失引当金	423	362
退職給付に係る負債	2,200	2,200
資産除去債務	953	1,059
その他	2,963	2,979
固定負債合計	6,692	6,758
負債合計	56,623	52,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,680	23,732
資本剰余金	52,920	52,971
利益剰余金	79,355	84,241
自己株式	△876	△883
株主資本合計	155,079	160,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618	280
為替換算調整勘定	△1,292	△1,422
退職給付に係る調整累計額	99	131
その他の包括利益累計額合計	△574	△1,010
新株予約権	327	363
非支配株主持分	482	482
純資産合計	155,314	159,896
負債純資産合計	211,938	212,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	73,130	86,360
売上原価	39,016	41,936
売上総利益	34,113	44,424
返品調整引当金戻入額	4,643	4,926
返品調整引当金繰入額	4,163	3,953
差引売上総利益	34,593	45,397
販売費及び一般管理費	26,085	32,813
営業利益	8,507	12,583
営業外収益		
受取利息	66	44
受取配当金	7	7
補助金収入	7	178
為替差益	526	104
雑収入	99	80
営業外収益合計	707	416
営業外費用		
支払利息	38	28
支払手数料	26	7
移転関連費用	144	33
雑損失	8	0
営業外費用合計	217	69
経常利益	8,997	12,930
特別利益		
固定資産売却益	—	10
投資有価証券売却益	82	—
新株予約権戻入益	7	19
特別利益合計	90	30
特別損失		
固定資産除却損	149	41
関係会社整理損	313	—
関係会社株式評価損	—	1,130
その他	258	92
特別損失合計	721	1,264
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	8,365	11,696
匿名組合損益分配額	132	—
税金等調整前四半期純利益	8,232	11,696
法人税、住民税及び事業税	1,118	4,197
法人税等調整額	1,375	170
法人税等合計	2,494	4,367
四半期純利益	5,738	7,328
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,702	7,324

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	5,738	7,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△338
為替換算調整勘定	1,737	△134
退職給付に係る調整額	△88	32
その他の包括利益合計	1,684	△440
四半期包括利益	7,423	6,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,335	6,887
非支配株主に係る四半期包括利益	88	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,757	21,298	6,196	1,877	73,130	—	73,130
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	19	63	83	△83	—
計	43,757	21,298	6,216	1,940	73,213	△83	73,130
セグメント利益	7,928	2,364	1,789	611	12,693	△4,186	8,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,186百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,201百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	60,177	19,005	4,950	2,226	86,360	—	86,360
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	48	352	401	△401	—
計	60,177	19,005	4,999	2,578	86,762	△401	86,360
セグメント利益	12,917	2,179	1,059	886	17,043	△4,460	12,583

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,460百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,482百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。